

レガシーを追求しました！

弁護士知財ネット 常務理事
弁護士 末吉 互

1 はじめに

1970年夏、中学2年生の筆者は、学校の任意参加イベントで、大阪万博1970を日帰りで訪れました。太陽の塔がとても印象的だったのと、長時間の行列の末、日本館を見学したことしか憶えておらず、残念ながら、内容面での記憶は全くありません。そこで、是非、大阪・関西万博2025も見学しようと、本企画に参加することとしたのです。

まず、2025年6月20日（最高気温は34℃程度）に日帰りで大阪・関西万博2025にトライしましたが、予約がとれた三菱未来館だけの見学となるなか、ミャクミャク関連グッズを沢山ゲットした次女の一人勝ちでした。この時は、長時間、大屋根リングの日陰での休息となり、同リングに大変お世話になりました。

さらに、2025年8月18日～19日（最高気温は36℃程度）に再度トライしましたが、予約がとれたのは、三菱未来館とPASONA NATUREVERSEだけでしたので¹、予約がなくても楽しめる、ネパール館、マレーシア館、バルト館²、コモンズ-A～コモンズ-E³をも見て回りました結果、多くの国々が一所懸命参加していることがよくわかりました。⁴

このように、東京からの参加でもあり、いろいろハンディもあったのですが、東京の強みも生かして、万博のレガシーを改めて追求することとしました。

2 太陽の塔

大阪万博1970のレガシーといえば、岡本太郎の太陽の塔ですね。この太陽の塔建設当時の事情

1 前者三菱館では生命進化と未来の火星への移住を素敵なCGで鑑賞し（6月20日と合わせ合計2回）、後者パソナ館では、iPS心臓と生命進化の樹が印象的でした。

2 ラトビアとリトアニアが参加しています。

3 複数の国などが1つの建物に出展する「共同館（コモンズ）」は、万博ならではの魅力のひとつ。「コモンズ-A」には29の国と地域、「コモンズ-B」には29の国と地域、「コモンズ-C」には11カ国、「コモンズ-D」には25の国と地域が参加しています。ここまでで、94の国と地域です。「コモンズ-E」は万博漫画展です。「コモンズ-F」には3カ国が参加していますが、時間がなく、残念ながら見学できませんでした。

4 とくに、キューバの熱心な踊りのステップ指導は人気を集めていましたし、ウクライナの展示スペースに、多くの人々が列をつくっていたのが印象的でした。